

団体名：JA高岡地場農産物直売運営委員会

代表者：穴田 甚朗

所在地：富山県高岡市あわら町

〔ポイント〕

「畑でパート！自家菜園で50万円」をスローガンに掲げ、平成14年7月に会員250名参加で直売組織を設立（現会員が727名（平成19年度末））。15年8月に活動の拠点となる直売所「食彩広場」をオープン。現在は5カ所を運営。

また、量販店でのインショップへの出荷も取り組み、平成14年の2企業4店舗から現在、6企業15店舗に出店。

【活動内容】

1. 女性と高齢者の就業の場づくりと地域の活性化のために、「農産加工部会」に発展させ、多様な農産加工品の生産・販売に取り組んでいる。直売所を基点に農産加工を行う女性起業組織が新たに発足し、地元農産物を使用した加工・販売の取組が進んでいる。
2. トレーサビリティによる安全・安心な農産物の生産として、全生産者で栽培管理日誌の記帳を進め、集荷場内に生産者毎の栽培日誌をファイリングするとともに、直売所の巡回等を行い、トレーサビリティシステムの構築や出荷方法の統一に取り組んでいる。
3. 高岡市内では地場野菜の生産量が少ないため、大型量販店などに出回ることが少なく、多くの消費者が地場野菜を目にしながらも、購入する機会が少なかった。JA等関係者の間では、市場価格の低迷の恒常化や水稻に特化した生産構造など、農業の現状に危機感が高まっていたことから、  
家庭菜園規模の農家を販売農家として育成するとともに、比較的安定した単価により販売することで経営の安定化を目指す。  
多くの消費者が集う量販店で地場産野菜がふんだんに陳列販売される流通構造を構築する。  
生産者の意志が価格決定に反映される販売システムで園芸作物の生産意欲の高揚を図る。  
ことなどを目的に、活動に取り組むこととなった。
4. 平成17年に「花き部会」を設置し、より多くの人に販売活動に参加し、花卉の生産拡大につなげている。